

RIF Labsが公共利用向け のRIF Name Serviceを 発表

ジブナルタル/2019年1月16日

RSK Labの創設チームと他の経営陣が率いる目的志向型の組織であるRIF Labsは、RIF Name Service (RNS) の正式な導入を発表する予定です。これはRIFディレクトリプロトコルの初の実装であり、Root Infrastructure Framework Open Standard (RIF OS) のユーザーがサービスへの完全なアクセス権を付与されます。これにより、RSK Live Network上のRSKアドレス、公開鍵、ソーシャルネットワークハンドルなどの関連リソースを、読み取り可能なエイリアスとドメイン名を介して容易に識別が可能になります。

「RIF OSを構築し、基盤となるRSKスマートコンタクトネットワークの機能を拡張し続けているため、主流のユーザー採用に対する最大の障害である基本的な使いやすさを見逃すことはできません。」とRIFラボのCEO、Diego Gutierrez Zaldivar (ディエゴ氏)は述べました。「インターネットが最初に開発されたとき、所有変革の可能性を理解するのが難しかったです。

DNSのようなサービスがなければ、我々はいまだ、インターネットサービスにアクセスするために、正確なIPアドレスを記憶に頼ることになるでしょう。これらの基本的なサービスがなければ、大量採用は達成されなかつたでしょう」。

RNSは、ブロックチェーンの開発者やユーザーが現在使用せざるを得ない読みにくい16進数のアドレスに対して、人間が読める別名をマッピングするのに役立ちます。たとえば、今後のRIFメッセージサービスで友達のAliceを検索したい場合は、「

3f84e75ebb8a561e24436eb456463b79afe533fc」を検索するではなく、単純に「alice.rsk」を検索すれば良いということです。RNSは公平性を確保するために、ドメイン名登録に入札システムを採用しています。RNSは、オーフェンス決済、データストレージ、データフィード、安全な通信など、RIF OSプロトコルの全スイートを統合する一連の強

力なサービスの先駆けです。

「当社のビジョンは常に、個人が検閲や仲介を通すことなくA点からB点に価値を移転できるオープンネットワークである価値のインターネットを創り上げることに焦点を当ててきました。ですから、RNSをすべてのユーザーが利用できるようにすることは、この目標を達成するために不可欠なのです」と、サルディバルは続けました。「このシステムを、今日の世界で、何もない状態で、何もない状態で利用できるようになることができれば、私たちは現在私たちの惑星を襲っている経済的不平等に効果的に対抗することができます。」

RIF Labsについて：

RIF Labsは、世界規模での金融包摂を可能にし、この最新技術と大規模採用の間のギャップを埋める、次世代のオープンブロックチェーンベースのインフラストラクチャの促進と開発に焦点を当てた、目的志向の組織として運営されています。

RIFラボは、RIF OSプロトコルをオールインワンの、使いやすいブロックチェーンインフラストラクチャサービススイートとして実装しています。これにより、従来の開発者とブロックチェーン開発者にとって拡張性と市場投入までの時間が短縮されます。

同組織は世界規模のミッション重視型の熱心な協力者から構成される成長中のチームを擁し、このチームはRSK ラボ 創立チームとその他経営陣によって牽引されており、創設チームはビットコインや仮想通貨分野の最前線で広く認められており、2011年以来、主要な技術革新とコミュニティ構築を積極的に展開しています。